

第12回 京北地域小中一貫教育校検討協議会

◇日時 平成30年11月20日（火）19：30～

◇場所 京北合同庁舎 大会議室

1 はじめに

2 前回の協議内容の確認

資料1

3 校名案の選定について

資料2-1～2

4 施設整備について

資料3-1～3

5 通学安全に係る登校シミュレーションについて

資料4

6 その他

7 次回の日程について

第 1 1 回（ 9 / 2 6 ） の協議内容

1 校名候補案の選定について

応募のあった校名案（3 1 1 点）について、2 2 点に絞り込みを行い、この 2 2 点の校名候補案を基に、一部活用や複合も含めて、専門家（京都市の国語科の指導主事等）に複数の校名案の検討を依頼することとした。

また、次回の検討協議会において、専門家が提案する校名案を基に協議し、地元案を最終決定のうえ、1 2 月頃に教育委員会へ「校名要望書」を提出することを確認した。

2 施設整備について

8 月 1 日に、法面对策、ロータリー等の造成工事に着手したことや、新校舎建築工事に関して、入札手続き中であることを報告した。

また、新校舎の外観・内観イメージ図を提示し、説明を行った。

3 通学安全に係る登校シミュレーションについて

7 月 1 1 日（水）に実施した登校シミュレーションについて報告した。

実施結果を踏まえて、子どもたちがより安全に通学できるよう、今後も複数回実施し、検討していくことを確認した。

4 その他

新校の P T A 組織・規約等について検討する「4 小中学校 P T A 会長会」の取組状況について報告した。

京北地域小中一貫教育校「校名」専門家案

(五十音順)

校名候補	選定理由・言葉の意味等
きょうとけいほくほまれ 京都京北誉	<p>「ほまれ（誉）」は良いところを褒め称えること。評判の良いこと。そして誇りとするに足ること。郷土京北のほまれを意味する。また、その対象となることは特定の事柄ではなく、全般的な意味合いがある。つまり、新校総体を誇ることを意図する。公募による「京都誉館」がもと。</p> <p>学校統合を機に共に学ぶ仲間が増え、一人ひとりが切磋琢磨して育っていく子どもたち、すばらしい集団であることと、日々の活動を何より自分たちで認識（評価）することが、自己有用感を醸成し、更なる高まりに繋がるであろう。</p> <p>また、地域住民が長い歴史の中で守り育ててきた花や緑、そして蛍が舞う清流などは郷土の誉れ。そのような恵まれた環境の中で育まれる人間力や精神的な豊かさには評判が良くすばらしいものがある。京北の地で学んだことを誇りに思い、世界で活躍できる人に育てて欲しいという願いを込めている。</p>
けいほくけいめい 京北啓明	<p>啓明とは「明けの明星（あけのみょうじょう）＝金星」のことで、夜明け前から東の空に輝く星。また「啓」はひらくことで、朝日に先駆けて輝く金星に象徴されるように、新校で学ぶ子どもたちが自らも輝き、将来をひらく学校を意味する。</p> <p>学んだ結果の知識を得るだけに終わらず、その知識を生かして思考し、判断し、表現できる資質・能力が求められてきている。学びに向かう意欲や人間性を京北の地で新たに整えられた教育環境の中で育み、将来にわたって学び続ける人、社会で輝く人になってほしいとの願いを込めている。</p>
けいほくすいめい 京北翠明	<p>京北地域は、豊かな自然に恵まれた山間地域。悠久の時を超えてそびえたつ「片波の伏条台杉」など貴重な自然が守られている。その貴重な自然を生かし、日本の木の文化を支えてきた地域に誇りを感じ、そびえたつ杉のごとく、子どもたちには、明るい日本の次代を支える人材になってほしいという願いを込めている。</p> <p>公募による「水明館」がもと。「すいめい」は言葉の響きがとても良く、澄んださわやかな感じを与える。</p> <p>「水」の読み「すい」を生かし、「翠」に置き換える。「翠」の訓読みは「みどり」であり、京北のシンボルである杉の翠をイメージすることができる。</p>
けいほくせいすい 京北清翠	<p>「翠」はみどり。清らかな山々のみどりと青々とした川の水流をイメージ。京北地域の豊かな自然を表現。</p> <p>清らかな心と身体をもって、生き活きとした生命感あふれる京北の地で、学びと気づきを柱とした教育を進めることで、他者との協同とコミュニケーションを、お互いの尊重をベースに、曇りなき清らかな心を育てたいという願いを込めている。</p>

校名候補案選定一覧（検討用資料）

No	「校名」又は「校名に使用したい文字」	読み方	選定者数(人)
1	京北	けいほく	12
2	京北学園	けいほくがくえん	8
3	きょうと京北	きょうとけいほく	3
4	京都けいほく学園	きょうとけいほくがくえん	3
5	けいほく	けいほく	3
6	京北周山	けいほくしゅうざん	3
7	京北立志館	けいほくりっしかん	3
8	京北緑風学園	けいほくりょくふうがくえん	3
9	京都水明館	きょうとすいめいかん	2
10	京都誉館	きょうとほまれかん	2
11	京北弘文館	けいほくこうぶんかん	2
12	京北伸学館	けいほくしんがくかん	2
13	京北清杞	けいほくせいき	2
14	京北積翠	けいほくせきすい	2
15	京北啐啄	けいほくそったく	2
16	京北中央	けいほくちゅうおう	2
17	京北みどり	けいほくみどり	2
18	京北夢咲	けいほくゆめさき	2
19	清	せい	2
20	花咲京北	はなさきけいほく	2
21	緑	みどり	2
22	緑風	りょくふう	2
23	潔	いさぎ	1
24	KEIHOKU学園	けいほくがくえん	1
25	京北雅風	けいほくがふう	1
26	京北廣学館	けいほくこうがくかん	1
27	京北恒暁	けいほくこうぎょう	1
28	京北御陵	けいほくごりょう	1
29	京北杉の風	けいほくすぎのかぜ	1
30	京北星光	けいほくせいこう	1
31	京北せせらぎ	けいほくせせらぎ	1
32	京北緑台	けいほくみどりだい	1
33	京北未来	けいほくみらい	1
34	京北山都	けいほくやまと	1
35	京北里晟	けいほくりせい	1
36	桜	さくら	1
37	里	さと	1
38	周山	しゅうざん	1
39	水明	すいめい	1
40	清澄	せいちょう	1
41	希望学園	のぞみがくえん	1
42	花降る里けいほく	はなふるさとけいほく	1
43	北桑	ほくそう	1
44	瑞	みず	1
45	京北辰	みやこほくしん	1

施設整備に係る工事の進捗状況について

1 全体工事の概要（スケジュール（予定））

工事	内容	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
土木 工事	① 法面对策（第1工区） ロータリー・テニスコ ート造成	8月 3月			
	② 法面对策（第2・3工区）		3月 12月	H32.4 開校予定	
	③ ロータリー等整備		5月 1月		
	④ サブグラウンド・テニス コート・駐車場等整備			6月 6月	
建築 工事	⑤ 新校舎建設		1月 2月		
	⑥ 旧校舎解体			4月 8月	
	⑦ プール建設			9月 5月	

※上記のスケジュールは予定であり、今後変更となる場合があります。

2 土木工事について

- ・現在施工中の工事は上記①です。現場状況は資料 3 - 2 参照。

3 建築工事について

- ・新校舎の平面図は資料 3 - 3 参照。

4 その他

- ・11月市会で新校舎整備に係る契約議案を承認いただいた後に、工事説明会及び起工式を開催。

土木工事の現場状況について

1 テニスコート造成工事



2 法面第1工区+ロータリー造成工事



通学安全に係る登校シミュレーションについて

1 目的

統合時の安全で円滑な通学に向けて、バス通学を経験することで、児童はもとより教職員、保護者、地域の方が統合後のイメージを共有できるようにするとともに、通学手段を検証し、必要に応じて改善を図る。

2 概要

(1) 日時

平成30年10月19日（金）登校時（第一小・周山中で合同学習・合同音楽祭を実施）

(2) 要領

第一小学校	通常どおりの方法で登校
第二小学校	黒田～第二小前（小塩・井戸除く。）の児童は、スクールバスで登校 小塩・井戸・山国～姑棄野の児童は、路線バスで登校 殿橋（下地区の一部）の児童は、徒歩で登校
第三小学校	全員、路線バス（2路線）で登校
周山中学校	黒田～第二小前（小塩・井戸除く。）の生徒は、スクールバスで登校 その他は通常どおりの方法で登校

※前回との変更点

- ① 第二小のスクールバス車両の変更（24人乗りから44人乗りに変更）
普段は24人乗りの車両であるところ、44人乗りの車両（路線バス車両）に変更し、一部地域の児童生徒の乗車するバスを路線バスからスクールバスに変更した。
 - ② 第二小校区の一部での徒歩通学の実施
保護者との協議を踏まえ、比較的第一小に近い下地区の一部地域の児童（7名）は徒歩で通学した。
- (3) 実施体制
学校教職員及び教育委員会職員が、バス乗車やバス停での見守りを行うほか、地域の方や警察等に見守りや安全確認にご協力いただき、安全な通学環境の確保を図った。
- (4) 周知
- ① 保護者向け文書を配布したほか、個別にバス停・時刻等を掲載した文書を配布した。
 - ② 地域の方へは、バス車内やバス停に告知ビラを貼付し、協議会だよりにも掲載した。
- (5) 実施結果
- ① 全路線で子どもたちの乗り遅れや車内での大きな混乱もなく、徒歩通学の児童も全員無事に登校した。
 - ② 第二小のスクールバス車両の変更、荷物の持ち方の指導等により、路線バスの乗車率は緩和されたうえ、概ね定時運行であった。

3 感想・意見

(1) 児童

- 前回よりバスが大きく乗りやすかった。乗り降りもスムーズにできた。
- 前回より余裕をもってバス停まで行くことができた。
- 中学生に席をゆずってもらった。バス登校になれば、自分もゆずってあげたい。
- みんなで安全に歩くことができ、時間も間に合ったが、あぶなそうなところがあった。

(2) 教職員

- 前回よりも車内のスペースに余裕があった。
- 路線バスとスクールバスの区別がはっきりしており、丁寧に指導できた。
- 道路を渡るときに横断歩道がない場所があった。
- 徒歩通学は、想定したほど時間はかからなかった。

(3) 保護者

- バス停までの歩道のうち、車道の端を歩く箇所がある。
- 徒歩通学は、特段の問題はなかった。

(4) その他

- JRバスとの接続は、特段の問題はなかった。

4 実施結果に基づく対応

(1) 適度な乗車率の確保への対応

車両の変更や車内での荷物の持ち方等の指導による効果は認められた。今後も適度な乗車率となるよう努める。

(2) バスの定時運行への対応

シミュレーションを重ね、児童生徒が自発的にスムーズに乗降できることを目指す。

(3) バス停までの行程等、通学路の安全への対応

学校・PTA・地域で点検・協議し、何らかの措置が必要と思われる箇所については、次回の検討協議会で確認したうえで、関係機関へはたらきかけていく。

5 今年度の実施予定

平成31年1月18日（金）：京北第一小学校で小学校の合同学習を実施予定

<参考：登校の状況>

第一小校区



徒歩による登校

第二小校区



スクールバスからの降車



路線バスからの降車



徒歩による登校

第三小校区



路線バスへの乗車



路線バスからの降車